



会長 佐々木 源 悦
 幹事 岩 渕 正 彦
 会報 江 川 元 徳 氏 家 良 典
 及 川 勝 永 布 施 孝 尚
 例会場 ホテルサンシャイン佐沼 ☎22-8180 FAX22-0327
 例会日 毎週木曜日 12:30~13:30
 事務所 ホテルサンシャイン佐沼 ☎22-8180 FAX22-0327

第2446回例会 2014. 4. 17 No.40

本日の出席率

・本日の出席率 75%

ニコニコボックス

- ・佐々木源悦会長 お陰様で父の葬儀を終えることが出来ました。ありがとうございます。
- ・熊谷敏明会員 息子の結婚式、お祝い有難くお礼申し上げます。
- ・及川昭宏会員 本日、スピーチ担当です。よろしくお願ひ致します。
- ・鈴木彦太会員 及川昭宏会員のスピーチ、楽しみにご期待申し上げます。
- ・布施孝之会員 及川昭宏会員のスピーチに期待して。
- ・佐藤幸一会員 及川昭宏会員のスピーチ、大いにご期待いたします。
- ・菅野幸一郎会員 及川昭宏会員のスピーチに期待。
- ・高橋義文会員 及川昭宏会員のスピーチを楽しみに期待致します。
- ・二階堂學会員 及川昭宏会員のスピーチに期待して。
- ・佐藤静市会員 及川昭宏会員スピーチに期待します。
- ・及川富男会員 及川昭宏会員のスピーチに期待して。
- ・千葉正宏会員 及川昭宏会員のスピーチ、楽しみにしております。
- ・岩渕正彦幹事以下、及川昭宏会員のスピーチに期待。
 村上武彦会員 佐々木崇会員 佐藤敬喜会員
 山田直志会員 佐竹孝行会員 高橋利光会員
 山田正会員 富士原祐子会員 武川毅会員
 太田陽平会員 只野佳且会員 大畑好司会員
 加藤亮会員

以上、ありがとうございます。

会長要件 佐々木源悦会長

父源助が4月8日亡くなり、皆様には通夜、葬儀に多数お出でいただきましたことお礼申し上げます。鈴木彦太パスト会長には心に響く弔辞をいただき、父もよろこんでいることと思います。父はチャーターメンバーであったことにとっても誇りを持っておりました。私が会長になったことを大変よろこんでおりましたので、会長職につかせていただいたことに感謝申し上げます。父の病状が悪く2週間続けて例会を欠席し申し訳なく思っております。残された2ヶ月ちょっと、来週末に予定されている地区の会長、幹事会、地区大会4月27日(日)の余目RCとの交流会を兼ねたお花見例会等、精一杯頑張ります。最後までご協力をお願い致します。

幹事報告 岩渕正彦幹事

- ・ガバナーエレクト事務所より
 2014年地区研修・協議会開催の案内
 日時 5月17日(土) 10:30~
 場所 ホテルメトロポリタン盛岡 ニューウィング
 登録料 8,000円
- ・地区大会(本会議)に参加の方で、バスを利用される場合、9時までにホテルサンシャイン佐沼にお集まり下さい。
- ・伊丹有明RCより、会報が届く
- ・次週の例会は、お花見例会のため、日時、場所を変更して行いますので、お間違いのないように。

各委員会報告

- ・親睦活動委員会(及川昭宏委員)
 次週は、鳴子ホテルに於て「お花見例会」を開催いたします。出欠の締切りは本日4月17日となっております。まだの方は、FAXにてご連絡下さい。

今週のスピーチ

及川昭宏会員

今日は、ウクライナ関係についてお話ししたいと思います。

地政学ですが、基本的には地政学上私が注目しているのは、ハウスホーファーという人がいますが、この人の地政学の論について調べてみました。生存圏論となっております。国家もある意味で生きものである、それが生きていくためにはその国力、体力に応じたエネルギーをなにかの形で得なければならないというところが一つのポイントになるのではないかと思います。人間に振り替えておけば、例えば、人間の体のなかで脳のエネルギー消費量は実に40%を超え、謎の臓器と言われております。

よく言われるのは、1トンの牛肉を作るのには100トンの餌を食べさせなければならないと。エネルギー密度のことを考えるとそれに相当するエネルギーが肉に集まっているので、逆に1kgの肉を食べるか、100kgの大豆を食べるかと言った時、1kgの肉を食べられるかも知れませんが、100kgの大豆は多分食べることが出来ないと思うのですが、そういったことで、エネルギー保存法則を使って吸収していっていると言うのが生存のための流れでやっている訳です。

生存圏を維持するために国家は拡大を続けなければならない。要は、経済的にある程度豊かになるという表現からすれば、それを補うために国土を広げなければならないと言うことで戦争問題とかに直結していく訳です。これが近代になって貨幣経済が導入されることによって国土や資産がある程度貨幣という代替物に置き換えられることによって若干、生存圏論とか地政学に影響を与えるというふうになっているそうです。あとは、外部からの影響といったものがあります。

ウクライナの問題ですが、政治的な問題で国を強制的にくっつけて一つの形にしてやっていけたのが戦後、冷戦時代、数10年をそれで過ごしたのですが、結局2大パワーによって、たががはずれたという状態になってしまいました。N極とS極の磁石をごちゃまぜに樽の中に押し込めて、いっきにたがをはずしたので、皆が勝手にぶつかり始めたというのが一つの考え方ではないかと思います。

あの地域自体、さかのぼれば、オスマントルコ、ローマ帝国、インド関係を含めアリア人等、戦争がずっと続いていた所です。かなりせめぎあいがあつたと言うのが国の形によって大体分かります。地政学というのは、地理による政治です。地形に沿って人は住みますので、地形と関係なく人が住むということはありません。このやり方がきちんと出来なくて大失敗したのが今のアフリカと中東です。

ウクライナについては、ウクライナを抹消すべく、特に、東側はウクライナコートとって、ソビエトの大牧草地として位置づけられております。ここをソビエトの物として確保すべく、ロシア人を大量に移民させて、逆にウクライナ人を外に出したという流れがあります。実際にはシベリア方面に出されているようです。日本の北方領土にもウクライナ出身の人が多いらしいです。空いた所にロシア人を入れてロシア化をするということが結構進みました。

ウクライナは、第二次大戦中は、ドイツ側とロシア側の2つに分かれております。共産主義が嫌いなのと帝国主義が嫌いなのと両方に人が行って外人部隊みたいな形でやられておりました。そういった意味では、もともと東西関係については若干微妙な位置にある国です。それでもって過去何年も色々なことがあり、その影響が今回出て来て、ついに、ロシアになる、ならないと言った話しになっている状況です。これについては、所詮、暫定政権ですのでこれが果して法的に認められる人達なのかどうかというところが一つのポイントであって、大さわざのもととなっております。

地政学からしますと、振り返って極東、日本は東のはずれにあります(アメリカの世界地図から見ると)極東の方の流れを見ても正に地政学の影響が現われはじめているという感じであります。特に、中国は今世界第2の経済大国で経済的なものは確かに2位ですが、人口的にはインドと同じ位なんでしょうから、2位、3位の国をたしても足りない位のパフォーマンスを持っております。どうしても生活レベルが上がらないので、これを補うためには外に出て行かなければならないところを先天的に持っておりますので、これをどのように打開するかというところが中国の政治家の1つの悩みどころではないかと思えます。国土を増やすということは大戦争になりますので、目を付けたところが海洋資源となり、南沙諸島とか尖閣諸島辺りを手に入れて、太平洋の半分位を中国でほしいなと言うことになって問題が出て来ております。

それで、我々がどのような影響を受けるかということですが、実は大影響を受けます。

私が小学生の頃、固定相場制だった記憶があります。1ドル360円で、それが変動相場制になりました。360円で計算していたものが、その都度変わりますので、大変な影響を受けることとなります。

一番憂慮されることは、食品安全保障関係で、所詮自給自足が出来ない先進国です。先進国のなかで農業自給自足率がこんなに低いのはたぶん日本だけということです。アメリカは農業輸出国です。経済的なバランスからすればG7の中でも日本は輸入の国であると私は思います。アンバランスの中での頑張りがあります。例えば先端技術、基礎技術というところでは頑張りが出ております。輸入国という状況下に置かれているので、果してきちんと国としての対応をし、体制を維持できるのかどうかというところが1つのポイントになってくるのではないのでしょうか。

これから先のことは誰も言えませんが、その中で国家が国民に対してきちんと何をなしとげられるかという点がポイントであって、国家が国民に対して成しとげられる最低の責任を持たなければならないのは外交と防衛の2点に集約されるのではないかと考えられます。これをきちんとやっていくことによって、潜在的リスクを如何にして減らしていった安定した経済活動を築き上げるかということです。国家を運営する人達の考え方をきちんと表わしていただきたいと思えます。